

教育総合支援センターの取り組み

いじめや不登校、学習面での不安、子どもの発達に関することなど、学校には相談しにくいような問題も受け付けています。

◆心理・教育・福祉の専門家と共に

スクールカウンセラー・スーパーバイザーとして2人の専門家を配置し、相談体制を充実させました。またスクールソーシャルワーカーを配置し、教育や福祉の専門家と共に、子ども・保護者の皆さんの悩み事、困り事をサポートしていきます。

◆「箱庭」を活用したカウンセリング

心理療法の一つ、箱庭療法を導入しました。利用者は、砂が入った箱に人形や建物の模型などを自由に並べていきます。この過程や、出来上がったものから心理的な傾向を読み取ります。うまく自分の状態を言葉にできない子どもでも、楽しみながらカウンセリングを受けることができるため、積極的に活用していきます。



用意された模型などを使い、自由に表現できます



作成過程や、出来上がったものを専門家が分析します

◆教育総合支援センターの役割

■相談体制



- ▶相談の受け付け
- ▶各学校に教育相談部会などでアドバイス
- ▶専門家によるカウンセリングなど、より高度な対応

▶スクールカウンセラー・スーパーバイザー
経験豊富な心理・教育の専門家が、いじめ・不登校・発達に関する相談に応じます。

▶教育相談員
不登校など、個々の子どもに応じた支援を行います。

▶スクールソーシャルワーカー
福祉の専門家が、関係福祉機関と連携し、支援します。

■学校連携支援員

教育・福祉の専門家が、より良い学校づくりや諸課題の解決を支援します。

◆ひまわりルーム

ひまわりルーム（適応指導教室）では、学校に登校することが困難になっている子どもに対して、個々の状況に適した教育支援を行っています。保護者の皆さんと共に、より良い解決に向け、一緒になって考えていきます。



スクールカウンセラー・スーパーバイザーの2人から 保護者の方へ



藤原一夫氏

ガイダンスカウンセラー。現日本学校教育相談学会埼玉県支部理事長（会長）など

急に子どもは変わります。笑っていた子が急に落ち込んでしまいます。どんな子どもでも多かれ少なかれ悩みます。子どもは決まって誰にも言いません。必死に隠そうとします。言えないのです。だから対応が難しいです。子ども自身でもどうしたら良いか分かりません。ちょっとした変化に気付くのは難しいのです。また、気付いてもどう対応したらよいか困ります。

しかし、視点を変えると対応の方法が見えてきます。何がその子にとって必要か。魔法でも見ているかのように。きっと見えてきます。子どもたちの意欲が変わっていきます。目が輝いてきます。人が違ったかのように意欲的になっていきます。諦めないことです。

心理臨床の世界に入り、私は「今、ここ」を大事にすること、「あるがまま」を受け入れることの大切さを学んできました。簡単なことではありませんが、それは子どもの成長には欠かせません。子どもたちは日々の体験を心の糧として育ちます。未来のために今を犠牲にすることなく、また今が過去に引きずられることなく生きてほしいと思います。感動に満たされ、発見に富んだ楽しい日々の積み重ねが子どもたちの輝かしい未来をひらきます。

子どもたちと皆さんの毎日が、誤解やすれ違いのない充実したものとなるよう、最大限のお手伝いをさせていただきます。



やぐち 谷口清氏

公認心理師、元文教大学教授。専門は生理・神経心理学、発達心理学など

一人で抱えず、気軽に相談してください

いじめ 不登校 学習のこと 進路のこと など 少しでも悩んだときは、早めに相談

教育総合支援センター ^{とがしら}（戸頭 8-10-1・旧戸頭西小）

月・水・金曜日：9:00～19:30、火・木曜日：9:00～16:30
※祝日除く

電話・FAX：☎ 63-4755、メール：sogoshien@city.toride.ed.jp

来所：事前に予約してください

・いじめ対策推進室：☎ 63-2537

↳ 直通メール：soudan2537@city.toride.ed.jp

・ひまわりルーム（適応指導教室）：☎ 63-4756（10:00～15:00）

茨城県相談専用ダイヤル（無休・24時間）

子どもホットライン：☎ 029-221-8181

茨城いのちの電話：☎ 029-855-1000

いじめ防止アプリ「^{ストップ} it」

市立中学校に通う全ての生徒が利用できます。報告・相談は匿名で行うことができます。アプリをダウンロードし、いじめを受けたとき、いじめを目撃したときは、相談してください。